

## 第2回第14採択地区教科用図書採択協議会

### 会 議 録

日 時 令和元年7月18日(木)  
11時00分～17時20分

会 場 東松山市総合会館3階 304会議室

## 第2回第14採択地区教科用図書採択協議会会議録

日時 令和元年7月18日(木) 11時00分～17時20分

場所 東松山市総合会館3階 304会議室

### 出席者 委員

中村 幸一 (東松山市教育長)	松本 邦文 (東松山市教育長職務代理者)
馬場 敏男 (滑川町教育長)	横塚 元幸 (滑川町教育長職務代理者)
永島 宣幸 (嵐山町教育長)	山田 朋美 (嵐山町教育長職務代理者)
小林 和夫 (小川町教育長)	茶原 桂子 (小川町教育長職務代理者)
久米 正美 (ときがわ町教育長)	坂下美代子 (ときがわ町教育長職務代理者)
関口 充 (鳩山町教育長)	山口 尚人 (鳩山町教育長職務代理者)
中村 正宏 (川島町教育長)	及川三栄子 (川島町教育長職務代理者)
大澤 幸正 (吉見町教育長)	松本 晃 (吉見町教育長職務代理者)
根岸 敏夫 (東秩父村教育長)	高田 長子 (東秩父村教育長職務代理者)

### 事務局・事務担当者

小林 聡 (東松山市教育委員会学校教育課長)  
原田 千恵 (東松山市教育委員会指導主事)  
田中 稔浩 (滑川町教育委員会指導主事)  
西川 光治 (嵐山町教育委員会指導主事)  
田中 守 (小川町教育委員会主任指導主事)  
横山 大輔 (小川町教育委員会指導主事)  
西條 宏実 (ときがわ町教育委員会主任指導主事)  
松宮 隆広 (鳩山町教育委員会指導主事)  
佐野 公洋 (川島町教育委員会指導主事)  
木伏 佑輔 (吉見町教育委員会指導主事)  
笠間 利恵 (東秩父村教育委員会主査)  
鍋谷 正則 (東松山市教育委員会学校教育課指導員)

進行：東松山市教育委員会  
小林学校教育課長

### 【傍聴者入場】

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 開会          | 第14採択地区採択協議会副会長 |
| 2 あいさつ        | 第14採択地区採択協議会会長  |
| 3 日程説明(資料の確認) | 事務局             |

- ・中学校用教科用図書（特別の教科・道徳を除く）採択の専門員は置いていない。  
（専門員による調査研究・学校における研究結果の聴取もない。）
- ・平成27年度採択における調査、研究を活用する。
  - （1）事務局から各教科について説明する。
  - （2）協議会委員にそれぞれの資料に目を通してもらう。
  - （3）協議会委員による協議を行う。
  - （4）選定をする。
  - （5）選定結果の発表：議長から結果を発表。

#### 【資料】

- ・ 本日の次第
- ・ 平成27年度の専門員による中学校用教科用図書研究の調査結果報告
- ・ 県の参考資料「平成28年度使用中学校用教科用図書」
- ・ 平成27年度の教科書展示会アンケートより保護者・一般の意見・感想をまとめたもの
- ・ 平成28年度使用中学校用教科用図書の選定結果と、学校の研究集計表
- ・ 教科書見本（中学校平成27年度用）

#### 【議長】

協議が慎重かつ円滑に進められ、適切な決定がされるよう各協議会委員の協力を願う。本日の会議については、採択会議規約の第10条により、公開とするが、「協議」を公開した後、「選定」及び「選定結果公表」については、非公開としたい。承認いただける方は、拍手を。

#### 【委員】

《拍手多数。承認。》

#### 【議長】

拍手多数により、「協議」の後「選定」「選定結果発表」については、非公開とする。また、会議の記録については、要点記録としたいがよろしいか。承認いただける方は、拍手を。

#### 【委員】

《拍手多数。承認。》

#### 【傍聴者退場】

## 【議 長】

令和2年度から使用される中学校教科用図書（特別の教科 道徳を除く）についての協議及び選定を行う。

各教科についての説明を事務局から

（事務局より）

平成27年度の資料を参考に、一括して協議を進める。まず、協議・選定に先立ち、当時の調査資料の中から選定された教科書会社の「総括」要点部分を読み上げる。

（国語） 「光村図書出版」

- 7つの単元で構成され、各領域が系統的・組織的にバランスよく配慮され、学習段階が3段階で示されていてわかりやすい。また、国語学習のための国語ではなく、「生活に生かす」「他教科の学習に生かす」視点が明確になっている。
- 古典から現代までの作品、著作などが各ジャンルともバランスよく取り上げられ、言葉に関する興味・関心が深まるような教材が取り上げられている。

（書写） 「光村図書出版」

- 3年間の学習が分かりやすく示されている。また、教材が見開き2ページにまとめてあり、各段階の学習内容についても理解しやすい。手本の大きさ、筆使いや色使い等に工夫が見られ、生徒の意欲・関心を高めるとともに、理解が深まるよう配慮されている。全体の約半分は「資料編」で、写真や図版とともに、日常生活に生かせる資料がまとめて掲載されている。

（社会・地理的分野、歴史的分野、公民的分野） 「東京書籍」

- 小学校での4年間の学習に、中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」が展開できるように学習内容の系統性に配慮してある。また、学習課題が示され、生徒が主体的に作業や学習を進め、応用したり学習を発展させたりできるよう工夫されている。

（地図） 「帝国書院」

- 地図のページが充実している。基本図をページいっぱいに扱い、地域の基本図では事項を厳選し、地図を読みやすくする工夫が見られる。また、使用頻度の高い地図、資料は巻頭にまとめて掲載されている。

（数学） 「東京書籍」

- 数学的活動や数学的に説明する記述式の問題を通して、数学的な思考力・判断力・表現力等を高められるような構成になっている。生徒が学習に見通しをもって主体的に学習に

取り組めるよう、自分で振り返りや学び直しがしやすい問題配置にしている。また、誤答例を取り上げることで、つまづきやすいポイントをきめ細かく見直し、より基礎・基本が身に付くよう配慮している。

(理科) 「東京書籍」

- 巻頭で「探求の流れと教科書の使い方」が示されており、理科の学習の進め方がわかるようになっている。また、学年別の3冊分とし、それぞれが各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた単元配列となっている。

(音楽・一般、器楽合奏) 「教育芸術社」

- 教材ごとに〈共通事項〉と関連させた学習目標が設定されており、音楽の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるように配慮されている。
- 音楽の目標を達成するための手立てとして、言語活動の工夫がされたワークシートがあり、思考力・判断力・表現力の育成を図ることができる。
- 埼玉県とゆかりの深い「旅立ちの日に」が掲載されている。
- 道徳的視点に立った教材が配置され、心の成長を促す工夫がされている。

(美術) 「開隆堂出版」

- 「絵・彫刻」、「デザイン・工芸」、「その他・資料」の3つの分野のバランスに偏りが無い。
- 題材の学習のねらいに対して、テーマや技法を変えて多様な取組ができるように工夫されている。
- 題材の中での表現と鑑賞の扱いが工夫して配置されている。

(保健体育) 「東京書籍」

- 運動やスポーツと食事について丁寧にわかりやすく取り扱っている。
- 保健編、体育編が学年ごとにまとめられ、3年間の流れで教科書全体が構成されている。
- 「今日の学習」⇒「やってみよう」⇒「本文・資料」⇒「考えてみよう」⇒「生かそう」という学びの道筋が見える構成になっている。

(技術・家庭科、技術分野) 「開隆堂出版」

- 学習内容は基礎・基本の習得を重視しているが、生徒の興味・関心が高まり、さらに深く学習できるような「参考」や「発展」などの資料も充実している。
- 指導内容の最後に「学習を振り返ろう」「生活に生かそう」「探求活動」などを「学習のまとめ」として示している。安全面や環境面への配慮も示されている。

(技術・家庭科、家庭分野)「開隆堂出版」

- 導入、基礎学習、展開、まとめ、評価の流れが系統的・発展的に掲載されている。
- 豊富な資料・写真から生徒が興味・関心をもって学習を進め、さらに章末の「発展」資料を参考にして、より学習が深められるようになっている。

(英語) 「東京書籍」

- 教科書サイズはA B版であり、新出単語は本文の横にある。
- 1年生では小学校英語の復習、2、3年生では前年の復習から学ばせるようになっている。基本方針に「つなぐ」という視点が見られる。

**【議 長】**

協議の前に資料に目を通す時間をとる。(5分程度)

**【傍聴者入場】**

4 協議

**【議 長】**

どの教科にかかわらず、意見のある方は挙手を。

**【A 委員】**

これまで使用してきた中学校の教科書については、4年間の実績の積み重ねがあり、特に不都合であるとの意見や報告は聞いていない。来年度1年だけの使用になるので、ここで教科書変更するよりも、継続的にこれまでの実績を更に高めていく効果の方がより期待できる。従って、前回選定した教科書でよいと考える。

**【議 長】**

他になければ、以上で協議を終了する。

(選定) 及び (選定結果発表)

**【議 長】**

つぎに、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者は、退席を願う。

**【傍聴者退場】**

**【議 長】**

☆選定 (非公開)

☆選定結果の発表 (非公開)

**【議 長】**

以上で、議長の任を解かせていただく。傍聴者は、入場を願う。

**【傍聴者入場】**

5 諸連絡

**【事務局】**

(1) 連絡

- ① 午前中の資料の取り扱いについて
- ② 本日のこれからの予定について

**【傍聴者退場】**

《休 憩》

**【傍聴者入場】**

13:00～

日程説明(資料の確認) 事務局

**[日 程]**

- (1) 専門員の報告：全ての発行者について、教科用図書の特徴を述べ、理由を含めてこの地域にふさわしい複数者を報告。
- (2) 質疑：採択委員より専門員代表者に質問。
- (3) 協議会委員による協議：報告のあった種目について、協議。
- (4) 選定：本協議会規約第11条の1～4項に従い選定。
- (5) 選定結果の発表：議長から結果を発表。

**[資 料]**

- ・ 本日の次第
- ・ 専門員による小学校用教科用図書研究の調査結果報告
- ・ 選定用紙
- ・ 小学校研究集計及び研究結果

- ・ 県の参考資料「小学校用教科用図書調査資料」
- ・ 教科書展示会アンケートより保護者・一般の意見・感想をまとめたもの
- ・ 教科書見本（小学校 全科）

## 《 協 議 》

### 【議 長】

本日の会議については、採択会議規約の第10条により、公開とするが、次第の「4 協議」のうち、専門員の代表による研究結果である「(1) 報告」及び「(2) 質疑」、また、「(4) 選定」、「(5)選定結果公表」については、非公開としたいが、承認いただける方は、拍手を。

### 【委 員】

《拍手多数。承認。》

### 【議 長】

拍手多数により、「4 協議」のうち「(1) 「報告」及び(2) 質疑」、また、「(4) 選定」、「(5) 選定結果公表」については、非公開とする。

また、会議の記録については、要点記録としたいがよろしいか。承認いただける方は、拍手を。

### 【委 員】

《拍手多数。承認。》

### 【議 長】

令和2年度から使用される小学校用教科用図書についての協議及び選定を行う。

これから非公開部分になるので、傍聴者は、退席を願う。

### 【傍聴者退席】

### 【議 長】

協議を始める。専門員の報告、学校の調査研究結果、展示会場における保護者等の意見はあくまでも参考である。採択委員の責務による公平で適正な選定が行われるよう願う。



## Aグループ（国語・書写・社会・地図）

### 《小学校 国語》

（1） 代表者による報告（非公開）

（2） 質疑（非公開）

### 《小学校 書写》

（1） 代表者による報告（非公開）

（2） 質疑（非公開）

### 《小学校 社会・地図》

（1） 代表者による報告（非公開）

（2） 質疑（非公開）

### 【議 長】

傍聴者は、入場を願う。

### 【傍聴者入場】

（3） 協議

### 【議 長】

小学校国語の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

### 【B委員】

児童の発達段階等を考えると、単元配列の系統的な指導が最も大切になる。高学年から入ってくる古典学習の入門期の教材も、中学校以降の古典学習への動機づけになる。

### 【C委員】

活動的な学習活動を展開する必要がある。教材の表示の仕方、配列が活動的に構成されている。活動内容が明示され、活動の在り方や内容の表示がわかりやすい。光村図書がよくできているという印象をもつ。

### 【議 長】

小学校書写の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【C委員】**

書写はしっかりとした書き順と筆使いで書くことが本質。書き順や筆使いが、いくつかの教科書で赤と黒で明示しているものがある。書くことが中心ではあるが、より書写に興味をもって学習活動にあたるには、という点では東京書籍がよくできている。

**【議 長】**

小学校社会の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【D委員】**

社会科の授業では問題解決的な学習、調べて考える、課題を出すというのは重要。教育出版の教科書は、問いから学習問題を作ることを大切にしているので、社会科の学習では理想的な教科書である。しかし、比企の若手、社会科が苦手な先生の中には、教科書を見て、教材研究をして“つかむ、調べる、まとめる”というような学習段階がはっきりしている東京書籍の教科書の方が、比企の社会科授業の実態に合う。

**【A委員】**

社会科は、いかに親しみやすく興味関心をもってそれを深めることができるかということ。教育出版は、読み物資料や文献資料が分量的に多く、特に高学年では、興味関心がもてるような展開をしている。どの教科書も埼玉県に関する歴史的、社会的事象は入れているが、渋沢栄一や稲荷山古墳など、教育出版が埼玉県のことをよく取り入れていて比企地域でも親しみやすい。

**【C委員】**

東京書籍の教科書の書きっぷり、歴史的事象が対話形式で展開されていて子供のキャラクターがついている。歴史的事象を対話形式で展開していくというのは、子供にとっては興味もてる展開で歴史が進んでいく感じだ。“調べる、つかむ、まとめる”という学習段階が明示されていた。ドラえもんがさりげなく出てきて、その時代その時代での単元の流れの中での質問は効果的だ。

教育出版もよくできているが、ゴシックの文字が少しきつい。ここはゴシックでなくてもよいのではないかというところが強すぎる。

**【議 長】**

小学校社会 地図の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【D委員】**

2つの地図帳を比べてみた。東京書籍の地図帳は、学びやすい地図帳になっている。

帝国書院の地図帳は、タイトルに「楽しく学ぶ」とあるように、子供の学びを大切にするとともに、地図専門会社の特色である豊富な資料とか専門性が高い。比企地区の子供たちも小学3年生から地図を使うようになるので、専門的であり子供の側に立った地図として帝国書院の地図の方が社会科を学ぶためにはよい。

**【議 長】**

他になければ、以上で協議を終了する。

(4) 選定及び(5) 選定結果発表

**【議 長】**

つぎに、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者は、退席を願う。

**【傍聴者退場】**

**【議 長】**

(4) 選定 (非公開)

(5) 選定結果の発表 (非公開)

《休 憩》

Bグループ (算数・理科・生活・音楽・図画工作)

《小学校 算数》

(1) 代表者による報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

《小学校 理科》

(1) 代表者による報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

《小学校 生活》

(1) 代表者による報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

《小学校 音楽》

(1) 代表者による報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

## 《小学校 図画工作》

(1) 代表者による報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

(3) 協議

### 【傍聴者入場】

### 【議 長】

小学校算数の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

#### 【A委員】

算数の教科書は、かつて教科書会社によって特徴がはっきりしていたが、近年は大差がない。しかし、その中で系統性が重視され、関連を意識した内容になっているのは啓林館である。県の資料の総括にあるように、主体的対話的で深い学びを実現するための授業づくりを意識した構成になっている。巻頭には、算数をよく使う考え方、作図の仕方が示されていて、スモールステップによる展開でわかりやすい。

一方、東京書籍も基礎的・基本的な知識、技能を重点化して扱っている。確実に習得、定着できるような工夫、1年生が分冊になっていて、東京書籍は工夫してある。中身については啓林館かと思う。

#### 【E委員】

算数の6社は、内容的に似通ってきたと感じる。数学的な系統でいくと啓林館。

今、若手教員が多いので、授業していくときのページ構成は、東京書籍、教育出版、啓林館等が見開きではないため、考えていくときに問題が裏面に解答があるように工夫されている。図を使っている時に、啓林館はいろんな図を使っているので本来どの図を使ってやればよいか選択する力をつけたい。しかし今、若手教員が多い中で東京書籍は図の系統性である程度教えているので教えやすい部分はある。専門的な部分では啓林館で楽しくやれる。しかし、若手教員のことを考えると東京書籍の方が授業はしやすい。

### 【議 長】

小学校理科の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

#### 【F委員】

理科の中心は観察、実験、考察、まとめになる。今、若い先生が多く、理科嫌いが増えている。どの会社の教科書も子供たちにとっては見やすい。若い先生、理科があまり得意でない先生たちが、どの教科書を使った時が教えやすいのか、ということでは啓林館。

**【G委員】**

理科の教科書を見て、探求する流れ、問題解決の流れ等どの教科書もそれほど違わない。大きな違いとして、啓林館は豊富な資料がついていて、学んだものを一般化または日常化でき、それらを深められる。学校の先生方が使うのに啓林館がよい。

**【C委員】**

私も啓林館がよい。どんな段取りを踏んで学習活動を展開していくか、わかりやすい表示の仕方だった。パターン化し過ぎだとも思うが、トータルでわかりやすい。シンプルではあるが、文字も程よく説明文があった。学習活動の過程では、題材によって一律の提示ではなく、弾力的にその過程を表示して題材、内容にあった学習活動が展開されるような教材配列になっていた。

**【議 長】**

小学校生活の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【C委員】**

東京書籍のものがよい。図版が大きく、活動の情報量が多く与えられている。絵と写真が効果的に配列されていてわかりやすい。

**【議 長】**

小学校音楽の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【C委員】**

教育出版がよい。現代における子供たち、大人にも親しまれる曲が多く載せられていた。生活と日々の子供たちの生活、家庭においても学校においても、生活との関連性の中でも音をどう捉えるのか、音をどう楽しむのか、音をどう創るのかといった視点がよく教材に配置されていた。

**【H委員】**

本町においては、教育委員、学校現場で教育芸術社を選択している。

**【議 長】**

小学校図画工作の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【B委員】**

題材の教材のわかりやすさ、題材の教育的効果等全般を見ると開隆堂を考えている。

**【議 長】**

他になければ、以上で協議を終了する。

(4) 選定及び(5) 選定結果発表

【議長】

つぎに、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者は、退席を願う。

【傍聴者退場】

【議長】

(4) 選定 (非公開)

(5) 選定結果の発表 (非公開)

《休憩》

Cグループ(家庭・保健・外国語・道徳)

《小学校 家庭》

(1) 代表者による報告(非公開)

(2) 質疑(非公開)

《小学校 保健》

(1) 代表者による報告(非公開)

(2) 質疑(非公開)

《小学校 外国語》

(1) 代表者による報告(非公開)

(2) 質疑(非公開)

《小学校 道徳》

(1) 代表者による報告(非公開)

(2) 質疑(非公開)

### (3) 協議

#### 【傍聴者入場】

#### 【議 長】

小学校家庭の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

#### 【A委員】

教育委員からの意見で、開隆堂は写真が多い。調理器具の名前がきちんと示されていて、丁寧であるので開隆堂がよい。

#### 【議 長】

小学校保健の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

#### 【I委員】

東京書籍は、写真や絵、グラフ等が非常に見やすく学習の進め方がわかりやすい。授業の流れとして導入、展開等もやりやすい。また、異性に関する記述も適していると感じたので、東京書籍がよい。

#### 【議 長】

小学校外国語の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

#### 【C委員】

小学3、4年生とどう連携を意識してつくったのかを考えた。リスニングやスピーキング、音から入ることが、言語習得理論ではよく言われていること。子供たちも書くこと、読むことよりも音声からの入りの方が興味をもつし、活動に取り組んでくる。よりコミュニケーション的な教材配列、活動配列を考えたときに東京書籍のものはコミュニケーションギャップを埋めようとする活動に入れるように考えられているのは東京書籍のものであった。ピクチャーディクショナリーも非常によく、小中の連携にも使えるので意義がある。

#### 【A委員】

はじめての教科書ということで、各社それぞれ特色があってよい。中でも東京書籍がよい。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語領域があるが、ともすると聞くこと、話すことが中心になってしまう。中学校への結びつきを考えると、6年生は書くことも多く取り扱って欲しい。その中で、東京書籍は6年生が県の資料では書くことについて、内容を含んで教材数が圧倒的に多いところを評価したい。別冊のピクチャーディクショナリーは大変いいものができている。

**【議 長】**

小学校道徳の教科書について意見のある方は、挙手を願う。

**【H委員】**

本町の教育委員会で研究した結果、教科書を開いたときにすっきりした画面が感じられた。また、主題をあえて出さないで問題意識をもたせるための主体性を育てるような内容になっている。前から取り上げている教材と新しい教材がバランスよくなっている。教材研究もかなり進んできて、使い慣れているところも学研教育みらいを評価した。

**【A委員】**

この地域では、教育出版が一番適している。日本や世界で活躍しているスポーツ選手を多く取り扱っていて、児童に夢と希望、感動を与え、その生き方を学ぶことができる。先人の伝記や偉人の業績を他の教科書よりも多く扱っていて、その偉大な人物の生き方から学ぶのに適している。この地域をはじめ、郷土埼玉の人物を多く取り上げている。ノーベル賞を受賞した梶田隆章氏は東松山市出身、川越高校、埼玉大学卒業。大村智氏は北本にかかわりがある。洪沢栄一氏は一万円札などなじみがあり、親しみやすくわかりやすいということで、この地域では教育出版が一番適している。

**【議 長】**

他になれば、以上で協議を終了する。

(4) 選定及び (5) 選定結果発表

**【議 長】**

つぎに、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者は、退席を願う。

**【傍聴者退場】**

(4) 選定 (非公開)

(5) 選定結果の発表 (非公開)

**【議 長】**

以上で、議長の任を解かせていただく。傍聴者は、入場を願う。

**【傍聴者入場】**



《 諸連絡 》

【事務局】

- ① 資料の取り扱いについて
- ② 今後の事務処理について
- ③ 各市町村教育委員会での採択後の対応について

《 閉 会 》

【副会長】

以上をもって、第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。